

# 砂川市庁舎建設基本構想・基本計画策定支援業務委託

## 公募型プロポーザル参加表明書評価要領

1. 参加表明書提出者が多数の場合における、企画提案書の提出を要請する者の評価・選定方法
  - (1) 企画提案書の提出者の代表者となる者の評価・選定は、本要領に基づいて参加表明書により行なう。
  - (2) 参加表明書の評価における評価点数の算出は、3(1)から(2)に掲げる評価係数に、3(3)に掲げる配点数を乗じて行なうものとする。
  - (3) 企画提案書の提出者の代表者となる者の選定は、あらかじめ事務局において整理した参加表明書の評価により選定する。
  
2. 業務実施上の留意事項（次の場合は企画提案書の提出者としない。）
  - (1) 管理技術者が一級建築士でない場合
  - (2) 管理技術者及び主任技術者が提出者の組織に属していない場合
  - (3) 管理技術者、主任技術者が1名でない場合
  - (4) 配置予定の技術者が国家公務員の場合は、国家公務員法第103条の規定を、地方公務員の場合は、地方公務員法第38条の規定を満たしていない場合
  - (5) 管理技術者又は主任技術者が、それぞれ兼任している場合
  - (6) 管理技術者又は主任技術者の同種規模等の手持設計業務件数が3件以上の場合
  - (7) 業務の大部分を再委託する場合
  - (8) その他、設定した条件を満たしていない場合

### 3. 参加表明書評価事項

(1) 事務所の評価（設計JVの場合は、JVを一つの事務所として評価する。）

#### ① 業務実績（同種・類似業務実績）・・・【様式2】

評価項目	評価事項	評価係数
業務実績	同種業務件数が3件以上で、内1件が同等規模の場合	1.0
	同種業務件数が1件以上	0.8
	上記以外の場合	0.4

同種業務：延床面積が2,500㎡以上の公共施設（庁舎又は文化ホール、博物館、図書館等）

同等規模：延床面積が5,000㎡程度

類似業務：延床面積が2,500㎡以上の民間の事務所、銀行、本社ビル等

道内物件がある場合：評価係数に1.0、無い場合に0.8を乗じる。

なお、基本構想・基本計画の同種業務実績がある場合は業務実績に関わらず、次の係数とする（協力事務所の実績も含む）

実績が2件以上ある場合：評価係数に1.0

実績が1件の場合：評価係数に0.8

#### ② 技術者数・・・【様式1】

評価項目	評価事項	評価係数
技術者数	換算技術者数 100人以上	1.0
	50人～100人未満	0.8
	50人未満	0.6

換算技術者数＝ $\Sigma$ （技術者数×技術者資格係数）

技術者資格係数：技術士は1.0、一級建築士、建築設備士は0.8、その他は0.5

#### ③ 有資格者数・・・【様式1】

評価項目	評価事項	評価係数
有資格者数	平均資格係数 0.80以上	1.0
	0.60～0.80未満	0.8
	0.60未満	0.6

平均資格係数＝ 換算技術者数÷技術者数

(2) 担当チームの評価

① 資格（技術者資格）・・・【様式1-2】

役割	評価する技術者資格	評価係数
管理技術者	技術士	1.0
	一級建築士	0.8
主任技術者	技術士	1.0
	一級建築士	0.8
	二級建築士	0.4
	その他	0.2
担当技術者	技術士	1.0
	一級建築士	0.8
	二級建築士	0.4
	その他	0.2

② 実績及び立場・・・【様式4及び様式5】

(ア) 業務実績

評価項目	評価事項	評価係数
業務内容	同種・同規模（5,000㎡程度）	1.0
	同種（2,500㎡以上）	0.8
	類似（民間の事務所、銀行、本社ビル等）	0.6

なお、基本構想・基本計画の同種業務実績がある場合は業務実績に関わらず、次の係数とする：評価係数 1.0

(イ) 携わった立場

携わった立場	管理技術者の 評価係数	主任技術者の 評価係数
管理技術者又はこれに順ずる立場	1.0	1.0
担当主任技術者又はこれに順ずる立場	0.4	1.0
担当技術者の立場	0.2	0.4

(ウ) 評価方法

各実績の(ア)×(イ)を算出し、これを加えたものを3件で除した値（小数点以下第3位を四捨五入する。）を実績評価とする。

実績が2件以下のものについても、加えたものを3件で除するものとする。

③ 経験年数・・・【様式4及び様式5】

管理技術者の場合		各担当技術者の場合	
経験年数	評価係数	経験年数	評価係数
23年以上	1.0	13年以上	1.0
18～22年	0.9	8～12年	0.8
13～17年	0.7	5～7年	0.6
13年未満	0.6	5年未満	0.5

経験年数の区分は「業務経験年数等による技術者の職階」による区分に準じている。

④ 手持業務・・・【様式4及び様式5】

評価項目	評価事項	評価係数
繁忙度	同規模業務が1件以下	1.0
	同規模業務が2件	0.6
	同規模業務が3件	0.2

業務の履行期間が重複するものについて評価する。

(3) 参加表明書評価表

評価項目		評価内容	① 評価係数	② 配点	③ 評価点 ①×②		
事務所の評価	業務実績	①様式2から同種・類似業務の実績を評価 ・同種業務件数が3件以上で、内1件が同等規模の場合:1.0 ・同種業務件数が1件以上:0.8 ・上記以外の場合:0.4 ②基本構想・基本計画の実績がある場合の評価 ・実績が2件以上ある場合:1.0 ・実績が1件の場合:0.8 ③道内物件がある場合:1.0 無い場合:0.8	① 同種 類似	② 構想 計画	③ 道内	15	
	技術者数	様式1から換算技術者数を算出				10	
	有資格者数	様式1から平均資格者数を算出				10	
担当チームの評価	資格	管理技術者	様式1-2から技術者資格評価			4	
		主任技術者	・技術士:1.0、1級建築士:0.8 ・2級建築士:0.4			3	
		技術者	・その他:0.2			3	
	実績・立場		様式4及び5から業務実績と立場を評価(3件) 【業務実績】 ・同種・同規模(5,000㎡程度):1.0 ・同種(2,500㎡以上):0.8 ・類似(民間の事務所、銀行、本社ビル等):0.6 ・基本構想・基本計画の実績がある場合:1.0 【立場】 ・管理技術者 管理:1.0 主任:0.4 担当:0.2 ・主任技術者 管理:1.0 主任:1.0 担当:0.4 ※業務内容×立場÷3	① 業務内容	② 立場	(①×②)/3	
		管理技術者				15	
		主任技術者				7	
		技術者				4	
	経験年数		様式4及び5から経験年数を評価	経験年数			
		管理技術者	・管理技術者 23年以上:1.0 18~22年:0.9 13~17年:0.7 13年未満:0.3			年	10
		主任技術者	・主任技術者 13年以上:1.0 8~12年:0.8 5~7年:0.6 5年未満:0.5			年	7
		技術者			年	4	
	手持業務		様式4及び5から繁忙度を評価	手持業務件数			
		管理技術者	・同規模業務が1件以下:1.0 ・同規模業務が2件:0.6 ・同規模業務が3件:0.2			件	2
主任技術者					件	5	
技術者					件	1	
合 計					100		
順 位							